

事業内容

- 主催 特定非営利活動法人 奈良 21 世紀フォーラム
共催 朝日新聞社
後援 奈良県教育委員会、奈良市、奈良市教育委員会、(社)平城遷都 1300 記念事業協会
協力 奈良女子大学書道部、デジタル書作家協会、奈良製墨協同組合、奈良毛筆協同組合、
Love letter Project 実行委員会

平城遷都 1300 年、そのドラマの舞台から発掘された木簡をはじめ「日本書紀」や、正倉院に伝わる文書等はすべて墨と筆で書かれ、当時の社会や経済、文化を知る上で貴重な資料となっている。

古代の中国で生まれた書は、わが国に伝わると漢字に仮名を加え、芸術性豊かな日本独特の文化として発展してきた。現代の IT 社会においても、書は私たちの生活に生き続け、新しい 魅力を生み出し続けていることを、奈良から発信する。

「展覧会」

- 展示 入選作品 50 点の展示、「書道具」の展示
体験 「奈良筆づくり実演」、「筆文字と IT とのコラボレーション デジタル書制作実演」
上映 「究極の墨の色を求めて～古都奈良の墨づくり～」
- 開催日 10 月 2 日(土)～3 日(日) 10:00～18:00(最終日は 16:00 まで)
 - 会場 県文化会館 展示場 C
 - 入場無料

「ワークショップ」

奈良県の大学生・高校生及び奈良市内の中学生、書道部の皆さんから約 50 名を募集する。紫舟さんの指導で大仏さんへの想いを書に綴って、大仏さんに奉納する。

伝統文化を引き継ぐ若人たちに、書の新しい表現力を知ってもらう

- 開催日 10 月 2 日(土) 10:00～11:30
- 会場 大仏殿東回廊
- 講師 書家 紫舟さん
- 参加費 無料(要申込)

「トークショー」

テーマ「奈良と大仏さんと私」

書に造詣の深い歴史学者の奈良国立博物館学芸部長の西山厚さんと奈良で 3 年間、書の研鑽をつみ、特
独の筆遣いで感情を書に表す創作活動をしている書家 紫舟さんの対談を、奈良の文化に詳しい朝日新聞
編集委員の小滝ちひろさんがコーディネートし、参加者に書の 魅力と無限の可能性を伝える。

- 開催日 10 月 2 日(土) 14:00～16:00
- 会場 県文化会館小ホール
- 出演者：奈良国立博物館学芸部長 西山厚さん、書家 紫舟さん、朝日新聞編集委員 小滝ちひろさん
- 参加者 300 名
- 入場無料(要申込)